

腹腔鏡下子宮全摘術の術後感染と抗菌薬の関係の研究について

1. 研究の対象

2018年12月～2022年4月までに腹腔鏡下子宮全摘術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

この研究は研究対象患者さんの過去の電子カルテ情報を用いて、手術する前に予防的に使用した抗菌薬の種類と投与方法が手術の後にどれくらい効果があったかを解析し、抗菌薬が適切に使用され、感染を防ぐことができたかを検討します。

この研究を行う事で手術後の感染症予防に効果が期待できる抗菌薬の種類・投与方法が判明することが期待できます。

研究期間は、病院長許可日から2022年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテより

- ・患者背景:年齢 体重 BMI 基礎疾患 アレルギー歴
- ・手術記録:手術時間 出血量 検体重量
- ・培養検査結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 産婦人科 科長 勝又佳菜

住所:静岡県磐田市大久保 512-3

電話:0538-38-5000